

各 位

会 社 名 滝 沢 ハ ム 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長 瀧 澤 太 郎
 (J A S D A Q ・ コード番号 : 2 2 9 3)
 問い合わせ先 取締役管理本部長 戸 田 敏 明
 電 話 番 号 0282-23-5640

平成 20 年 3 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年5月22日に公表した平成20年3月期中間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想の修正

(1) 個別中間業績予想 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	15,400	190	160	130
今回修正予想 (B)	15,200	△132	△155	△323
増 減 額 (B - A)	△200	△322	△315	△453
増 減 率	△1.3%	—%	—%	—%
(ご参考) 前期実績 (平成18年9月中間)	14,682	78	67	△0

(2) 連結中間業績予想 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	17,500	200	160	120
今回修正予想 (B)	17,080	△141	△154	△336
増 減 額 (B - A)	△420	△341	△314	△456
増 減 率	△2.4%	—%	—%	—%
(ご参考) 前期実績 (平成18年9月中間)	16,693	113	79	△2

2. 修正の理由

当中間期の売上高については、食肉加工品は生ハムやハム・ソーセージの売上が好調に推移しましたが、食肉は牛肉の売上が不振だったため減少しました。この結果、当中間期の売上高は予想をやや下回る見込みとなりました。利益面については、食肉加工品の主要原料であります輸入豚肉価格が当初予想より高騰したことや原油価格の高騰による資材価格の上昇および物流経費等も予想以上のコスト増加要因になり、営業利益、経常利益とも前回予想を下回る見込

となりました。

また、中間期においては、栃木市城内町の建物等の遊休資産の取り壊し費用および固定資産除却損を 134 百万円計上する見込みとなったため、中間純利益についても予想を大きく下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。連結業績予想の修正につきましては、主に個別業績予想の修正に伴い、修正するものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在見直しを行っておりますので、まとも次第公表する予定であります。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上